



令和5年10月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 307(2023年10月)

■【第12弾】クラウドファンディングプロジェクト支援者募集！プロジェクト終了まであと19日、目標金額達成まで129万4千円となりました(10/6現在)

公益財団法人松竹大谷図書館では9月5日よりクラウドファンディングサービス「REDAYFOR」にて、本年開場100周年を迎えた大阪松竹座の歴史的な資料を未来へと遺すため、補修とデジタル化を行うプロジェクト「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」を実行中です。

大変ありがたいことに10月6日現在、達成金額は48%の129万6千円、95人の方からご支援をいただいております。募集期間終了は10月25日(水)23時です。プロジェクト達成のため、皆さまのお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

さてプロジェクト開始以降、大阪松竹座をはじめ、各劇場や映画館、美術館など関係各位にもご協力を仰ぎまして、チラシを配布させていただいております。また、Web媒体や雑誌などさまざまなメディアで当プロジェクトをご紹介いただいているほか、各団体HPのお知らせページへの掲載など、各方面よりお力添えをいただき、当プロジェクトにつきまして周知させていただいております。スタッフ一同厚く御礼申し上げます。



昭和3年発行の『松竹座ニュース』。全て松竹楽劇部に所属し、舞台美術家として活躍した山田伸吉の筆による表紙絵。

大阪松竹座の開場100周年という記念すべき年に、戦前に発行されていた『松竹座ニュース』など当館が所蔵する貴重な資料を補修・デジタル化し、将来にわたり広く活用していく当プロジェクトを無事達成することができますよう、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

■メディア掲載情報■

【雑誌】(※あいうえお順、敬称略、10/6現在)

『映画時報』2023年9月号／『劇評』2023年9月号／『合同通信』2023年9月8日号／『ほうおう』2023年10月号／『日本舞踊』2023年10月号

【Webサイト・メルマガ】(※あいうえお順、敬称略、10/6現在)

[演劇キック・えんぶ](#) (2023年9月6日)／[歌舞伎 on the web](#) (2023年9月5日)／[歌舞伎美人](#) (2023年9月5日)／[日本演劇興行協会](#) (2023年9月5日)／[日本シナリオ作家協会](#) (2023年9月5日)／[チケットWeb松竹メルマガ](#) (2023年10月6日)／[SENTOKYOブログ【専門図書館協議会】](#) (2023年9月6日)

このほかにも、いつも当館をご支援してくださる方々がSNSで情報発信し、拡散してくださるなど、たくさんの方にご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。

目次:

【第12弾】クラウドファンディングプロジェクト支援者募集！プロジェクト終了まであと19日、目標金額達成まで129万4千円となりました(10/6現在)	1-2
「中央区まるごとミュージアム2023」に参加します【11月4日(土)特別開館のお知らせ】	2
『鏡獅子』4Kデジタル修復版が東京国際映画祭で初上映！	3
歌舞伎公式総合サイト「歌舞伎美人」の企画特集「教えて！松竹大谷図書館」公開中！	3
第99回所蔵資料ミニ展示 山田洋次監督展 第八弾—1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情断七元結』— 関連資料ご紹介	4
所蔵資料紹介 —[10]「笠置シズ子自伝『歌う自画像』—	4
資料提供	4
新着資料案内	5
新規登録資料案内	5
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	6
休館のお知らせ	6
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	6
利用案内	6

■リターン特典ご紹介■

プロジェクト成立後のご支援のお礼としてお贈りするリターンの特典を一部、ご紹介いたします。

●松竹大谷図書館開館65周年記念オリジナル文庫本カバー2枚1組セット（5千円以上ご支援をくださった方）

当館は、おかげさまをもちまして本年7月1日に開館65周年を迎えました。節目の年を迎える今回は、新しく作成いたしました、「本」のモチーフに緑色の松竹マークをあしらった“松竹大谷図書館ロゴマーク”を用いたデザインのオリジナル文庫本カバーをお贈りいたします。シンプルな白地にロゴマークが際立つものと、緑色の本のマークの格子柄にロゴマーク入りのもの二種類で一組のセットとなっております。



●松竹大谷図書館オリジナル組上燈籠絵クリアしおり

（3万円以上ご支援をくださった方）

当館所蔵の組上燈籠絵「歌舞伎座新狂言侠客春雨傘中之町場組上ケ三枚續」（明治30〔1897〕年6月発行）と「組上燈籠付属絵」（明治27〔1894〕8月発行）、そして当館ロゴマークも入ったオリジナルクリアしおりです。



【第12弾】プロジェクト概要

プロジェクト名:「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」

募集期間: 2023年9/5(火)11時～10/25(水)23時【50日間】

目標金額: 250万円『松竹座ニュース』及び関連資料補修・デジタル化費など215万円、利用手数料35万円)

募集金額: 一口 3,000円 / 5,000円 / 10,000円 / 30,000円 / 50,000円

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

▼詳しくはURLまたはQRコードよりプロジェクトページをご覧ください

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan12>

SNS(Facebook,Instagram,X)でも情報発信しております



■「中央区まるごとミュージアム2023」に参加します【11月4日(土)特別開館のお知らせ】

当館が所在している中央区の豊かな文化的魅力を多様なイベントで体験できるイベント「中央区まるごとミュージアム2023」が、11月5日（日）に開催されます。今年度で第16回となる「中央区まるごとミュージアム2023」ですが、当館は今年初めて「事前募集イベント」への参加として、まるごとミュージアム開催前日の11月4日（土）に特別開館いたします。

当館は、近年では通常平日のみの開館となっておりますので、土日などのお休みにしかご来館できないという方は、ぜひこの機会にご来館ください。ご予約をお待ちしております。

11月4日（土）のイベント当日は、資料の閲覧（要事前予約）と館内ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」の観覧（予約不要）をお楽しみいただけます。

お席のご利用は、午前10時より午後5時までの間で最大3時間までとなります。

ご予約・お問い合わせ：松竹大谷図書館

03 (5550) 1694（平日10時～17時）

詳しくは、「中央区まるごとミュージアム2023」【事前募集イベント】イベント案内をご覧ください。

<http://www.marugoto-chuo.jp/event/4543/>



中央区にあるコミュニティラジオ局『中央エフエム』の生放送番組「Hello! Radio City」にスタッフが生出演し、まるごとミュージアムのイベント内容をご紹介します。

出演日: 2023年10/18(水)12時5分～《12分程度》

▼中央エフエムのHP: <http://fm840.jp/>

■『鏡獅子』4Kデジタル修復版が東京国際映画祭で初上映！

当館が昨年2022年に実施いたしましたクラウドファンディング「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」プロジェクトのご支援により4Kデジタル修復を行った『鏡獅子』が、第36回東京国際映画祭において、初めて上映されることが決定いたしました。

小津安二郎生誕120年を記念した特別企画「未来へのメッセージ」小津安二郎生誕120年記念企画 “SHOULDERS OF GIANTS” における特集上映の一作品として、10月25日(水)20時5分から『長屋紳士録』と同時上映されます。東京国際映画祭での上映タイトルは『菊五郎の鏡獅子』となり、『鏡獅子』4Kデジタル修復版としてのワールド・プレミア上映となります。

詳細は、東京国際映画祭HPをご覧ください。

<https://2023.tiff-jp.net/news/ja/?p=61333>

小津安二郎生誕120年を機に、日本の映画・演劇界にとっても貴重な映画『鏡獅子』を次世代まで大切に遺し、より多くの方に観ていただきたい、との思いから取り組んだ【第11弾】プロジェクトの成果が、おかげさまでいよいよスクリーンで公開されます。『鏡獅子』のスクリーンでの上映は、デジタル化にあたってのひとつの目標であり、それも国際的な場での初上映となったことは、スタッフ一同大変嬉しく思っております。そして、今回大きなお披露目の機会を頂いたことで、これをきっかけに公開や活用がさらに進む事を願っております。

当時最高の技術を使って撮影された映像と音声、4Kデジタル修復により鮮やかに蘇った【第11弾】プロジェクトの成果を、ぜひご覧ください。



小津安二郎生誕120年記念企画 “SHOULDERS OF GIANTS”

小津安二郎生誕120年特集上映

[長屋紳士録 4Kデジタル修復版／菊五郎の鏡獅子 4Kデジタル修復版]

アジアン・プレミア

<https://2023.tiff-jp.net/ja/lineup/film/36100ZY04>

会場:角川シネマ有楽町(車椅子スペースあり)

日時:10/25 [WED] 20:05-

料金:一般¥1500 学生¥1200(学生当日¥500)

販売:10/14(土)13:00より販売開始

■歌舞伎公式総合サイト「歌舞伎美人」の企画特集「教えて！松竹大谷図書館」公開中！

歌舞伎公式総合サイト「歌舞伎美人」で9月13日より、当館のレファレンスサービスについての企画特集が公開されております。「歌舞伎美人」では2021年の「潜入！松竹大谷図書館」、そして2022年の「深掘り！松竹大谷図書館」と、これまでも読書の秋の季節に当館をご紹介していただいております。

今回は「教えて！松竹大谷図書館 歌舞伎の疑問に答えませう」と題し、当館のレファレンスサービスについて詳しく取り上げていただいております。

レファレンスサービスとは、図書館員が利用者の方より質問や相談を受けて、資料の紹介や、資料を探すためのお手伝いをするサービスのことです。

今回は実際に歌舞伎美人編集部スタッフさんより、「黙阿弥作品のあらすじや配役を知りたい場合は、どんな資料がオススメですか？」といった歌舞伎に関する質問を受けて資料をご紹介します、当館ならではのレファレンスサービス体験をまとめていただいております。

当館を初めてご利用いただく方にもご参考にしていただけるような企画となっておりますので、ぜひご覧ください！

▽歌舞伎美人「教えて！松竹大谷図書館」はこちら

<https://www.kabuki-bito.jp/special/more/otanilibrary/post-autumn3/>



■第99回所蔵資料ミニ展示 山田洋次監督展 第八弾 —1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情噺文七元結』— 関連資料ご紹介

現在、歌舞伎座の「錦秋十月大歌舞伎」で山田洋次監督の歌舞伎座初演出となる『文七元結物語』が上演されていることを記念し、平成19[2007]年10月新橋演舞場上演の歌舞伎『人情噺文七元結』の資料をご紹介します。

十八代目中村勘三郎が主演したこの舞台で、山田監督は初めて歌舞伎の補綴をてがけました。後にシネマ歌舞伎にもなった作品です。閲覧室展示では、舞台面と呼ばれる舞台全体を写した写真4枚と、十八代目勘三郎や三代目中村扇雀が写る舞台写真2枚を展示しています。

この資料に関連して今回は、『人情噺文七元結』のプログラムと台本をご紹介します。台本はこの他に、狂言作者による上演の際の変更箇所などの訂正が入った「狂言作者書込本」も所蔵しています。今後の舞台製作や宣伝にも活用される資料です。日本広しといえども図書館としては当館のみが所蔵する資料です。

山田洋次監督の台本やプログラムなどは、当館のOPACで検索できます。閲覧されたい資料がありましたら、ぜひ閲覧席をご予約の上ご来館ください。

▼資料検索(OPAC)

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>



平成19[2007]年10月新橋演舞場上演の歌舞伎『人情噺文七元結』資料
左より:プログラム、台本

**閲覧室ミニ展示「山田洋次監督展 第八弾
—1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情噺文七元結』—」**
展示期間:2023年8/28(月)~10/25(水)/時間:平日10時~17時/休館日:土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室

※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。
松竹大谷図書館 Tel 03-5550-1694(平日:10時より17時)
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■所蔵資料紹介 —[10]「笠置シヅ子自伝『歌う自画像』」—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、10月2日より始まったNHK朝の連続テレビ小説「ブギウギ」に関連して、笠置シヅ子の資料をご紹介します。

現在当館は、10月25日までクラウドファンディング【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」を実行中ですが、笠置シヅ子はこの大阪松竹座に縁の深い人物です。戦前から戦後にかけて活躍し「ブギの女王」として一世を風靡した笠置シヅ子は、大阪松竹座を拠点としていた松竹楽劇部(後のOSK)の出身でした。自伝『歌う自画像』(北斗出版、昭和23(1948)年9月)には、小学校を卒業した昭和2(1927)年に、その時は生徒を募集していなかった松竹楽劇部に何とか入ろうと大阪松竹座の楽屋に乗り込み、当時音楽部長であった松本四郎に頼み込んで研究生にもらったという逸話がかかれてあります。

こちらの本は当館閲覧室でお読みになれますので、朝ドラを見て笠置シヅ子にご興味を持たれた方は、ぜひ閲覧席をご予約の上ご来館くださいませ。



自伝『歌う自画像』表紙

資料提供 (2023年7~9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『読売新聞』歌舞伎座広告2023年7月 図書『舞台之團十郎』より『静の法楽舞』を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第105号』2023年8月23日アセット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「歌舞伎座稟告」を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第107号』2023年9月20日アセット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「六世中村歌右衛門着用『京鹿子娘道成寺』花子の衣裳」を提供

【プログラム掲載】「歌舞伎座新開場十周年 八月納涼歌舞伎」2023年8月歌舞伎座 昭和7年3月歌舞伎座筋書を提供／「令和5年度公文協西コース松竹大歌舞伎」2023年8-9月地方巡業 初世中村鴈治郎『心中天網島 河庄』スチール写真を提供

【放送】プレミアムステージ「佐渡島他吉の生涯」2023年9月3日NHKBSプレミアム 映画『祇園の姉妹』スチール写真を提供

【その他】第77回泉鏡花研究会大会「『天守物語』初演の実際 使用台本の検討から」市川祥子 2023年8月5日昭和女子大学『天守物語』台本を提供

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系9月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『祇園祭礼信仰記 金閣寺』		○		
	『新古演劇十種の内 土蜘蛛』	○	○		
	『秀山十種の内 二條城の清正』	○	○	○	○
	『菅原伝授手習鑑 車引』	○	○		
	『連獅子』	○	○		
	『一本刀土俵入』		○		
新橋演舞場	『ふるあめりかに袖はぬらさじ』	○		○	○
南座	『新・水滸伝』	○		○	○
松竹座	『ビートルジュース』			○	
博多座	『歌舞伎十八番の内 矢の根』	○			
	『歌舞伎十八番の内 外郎売』	○			
	『壽三升景清 歌舞伎十八番の内 景清』	○			
	『其佛対編笠 鞆當』	○		○	○
	『十三代目市川團十郎白猿 八代目市川新之助襲名披露口上』				
	『歌舞伎十八番の内 暫』	○			
永楽館	『菅原伝授手習鑑 車引』	○			
	『映像で振り返る永楽館歌舞伎』			○	
	『お目見得口上』				
	『釣女』	○			
地方巡業	『玩辞楼十二曲の内 土屋主税』	○		○	
	『汐汲』	○			

グ『First Love ～ツルゲーネフの「初恋」～』あうるすぽっとプログラム/あべの歌舞伎 晴の会『肥後駒下駄』近鉄アート館プログラム/NODA・MAP『兎、波を走る』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/KASANE PROJECT『素浄瑠璃 色彩間苺豆』国立文楽劇場小ホールプログラム/ブロードウェイ・ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』シアターオーブプログラム/『第62回声明公演』国立劇場大劇場プログラム/『第174回舞踊公演』国立劇場小劇場プログラム/『第175回舞踊公演』国立劇場大劇場プログラム/『第55回特別企画公演』国立劇場大劇場プログラム/『第332回歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム/『第25回音の会』国立劇場小劇場プログラム/『第29回稚魚の会・歌舞伎会合同公演』国立劇場小劇場プログラム/『第171回文楽公演』国立文楽劇場プログラム/『第45回邦楽公演』国立文楽劇場プログラム

◆映画資料◆『特別編 響け！ユーフォニアム アンサンブルコンテスト』プログラム/『アイドルマスター ミリオンライブ! 第2幕』プログラム/『アイドルマスター ミリオンライブ! 第3幕』プログラム/『オクス駅お化け』プログラム

◆映画プログラム◆(順不同)『卒業 Tell the World I Love You』『道頓堀松竹座映画祭』『6月0日 アイヒマンが処刑された日』『ドラキュラ デメテル号最期の航海』『アステロイド・シティ』『春に散る』『ホーンテッドマンション』『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』『SAND LAND』『君たちはどう生きるか』『トランスフォーマー ビースト覚醒』『マイ・エレメント』『しん次元!クレヨンしんちゃんTHE MOVIE 超能力大決戦 とべとべ手巻き寿司』『君は行く先を知らない』『ドロステのはてで僕ら』『リバー、流れないでよ』『初恋』『ナイル殺人事件』『ノマドランド』『ジョジョ・ラビット』『フレンチ・ディスパッチ ザ・リパティ、カンザス・イヴニング・サン別冊』『バーナデット ママは行方不明』『ルー、パリで生まれた猫』『ファッション・リイマジン』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2023年 October, November/『JATET』No. 92/『JPL』No. 89/『KENSYO』Vol. 130/『SePT 倶楽部 information』2023年4月号, 6月号, 8月号/『act guide[アクトガイド]』2023 Season 16/『あぜくら』2023年9月号/『えんぶ』2023年10月号/『ほうおう』2023年11月号/『テアトロ』2023年10月号/『ミュージカル』2023年9月-10月号/『ラ・アルプ』2023年10月号/『芸劇BUZZ』Vol. 45/『劇評』第18号/『国立演芸場公演ガイド』令和5年10月号/『大向う』令和5年9月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2023年10月号最終号/『日本照明家協会誌』2023年9月号/『日本舞踊』75巻10月号

◆映画雑誌◆(順不同)『NFAJプログラム』No. 47, No. 48/『SCREEN』2023年10月号/『TVガイド』2023年9/8号, 9/15号, 9/22号, 9/29号/『おとなのデジタルTVナビ』2023年11月号/『キネマ旬報』2023年10月号/『シナリオ』2023年11月号/『シナリオ教室』2023年10月号/『ドラマ』2023年10月号/『ムービー・スター』2023年11月号/『ロケーションジャパン』2023年10月号/『映画テレビ技術』2023年10月号/『映画時報』2023年8月号, 9月号/『松竹[社報]』237号/『日経エンタテインメント!』2023年10月号/『文化通信ジャーナル』2023年10月号

◆他社演劇公演資料(2023年7月-9月)◆(順不同) 劇団かもめんたる『S. ストーリーズVol. 2』座・高円寺1プログラム/ ENG『ヨリソウ重力(ENG改定版)』吉祥寺シアタープログラム/ぼこぼこクラブ『あいつをクビにするか』シアタートップスプログラム/大森カンパニープロデュース『更地19〜更地に、イモ欽』下北沢小劇場B1プログラム/シス・カンパニー『いつぞやは』シアタートラムプログラム/劇団アンパサンド『地上の骨』三鷹芸術文化センター星のホールプログラム/日穩bion『オミソ』赤坂RED/THEATERプログラム/トローチ『熱く、沼る』赤坂RED/THEATERプログラム/くによし組『壁背負う人々』こまばアゴラ劇場プログラム/清流劇場『台所のエレクトラ』こまばアゴラ劇場プログラム/大川企画『笑う』王子小劇場プログラム/笑の内閣『ゴメラの逆襲・大阪万博危機一髪』こまばアゴラ劇場プログラム/演劇集団円『ヨーコさん』吉祥寺シアタープログラム/『SHINE SHOW!』シアタークリエイブプログラム/劇団四季『エルコスの祈り』自由劇場(四季)プログラム/OSK日本歌劇団『レビューCalling Moon』市民“いちご”ホール(真岡市民会館)プログラム/OSK日本歌劇団『レビュー Road to 2025!!』クールジャパンパーク大阪TTホールプログラム/OSK日本歌劇団『へぼ侍』近鉄アート館プログラム/リーディン

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『スクリーン・エロティシズム イギリス篇』『スクリーン・エロティシズム フランス篇』『スクリーン・エロティシズム ドイツ篇』『スクリーン・エロティシズム イタリア篇』『スクリーン・エロティシズム アメリカ篇』『スクリーン・エロティシズム 北欧・日本篇』『ヨーロッパ映画1950'S Golden age』『アメリカ映画1950'S Golden age』『西部劇紳士録』『西部劇大鑑 新装版』『西部劇大鑑』『密林・南海映画美女図鑑 知られざるヒロインの系譜 Kodama collection』『西部劇総覧』『大西部劇 写真集』『懐かしの映画女優101』『世界名女優物語』『キートン!キートン!!キートン!!! Buster Keaton and his friends』『バスター・キートン100th』『ターザン Kodama collection Part 2』『鳴物閑談』『かぶき手帖 2023年版』『中村吉右衛門』『成瀬

巴喜男演出術 役者が語る演技の現場 新版』『教養として学んでおきたい歌舞伎』『JAPANESE FILM 2022』『OMS戯曲賞vol. 28』『私の履歴書 市川猿翁』『追悼 京都の渡邊守章』『The Bee』『サラ・ベルナル 運命を誘惑するひとみ 新装版』『サラ・ベルナルの一生』『スミからスミまで!絵で知る歌舞伎の玉手箱』『台本からたどる小津安二郎』『地方映画書探訪』『夕焼雲の彼方に 木下恵介とクィアな感性』『細田守とスタジオ地図の10年』『悪童(ワルガキ) 小説寅次郎の告白』『吉永小百合私生活の生き方』『三島由紀夫小百科』『伝説・物語の神戸を歩く』『マルジナリアでつかまえて2 世界でひとつの本になるの巻』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年9月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は感染対策のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2023年5月16日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

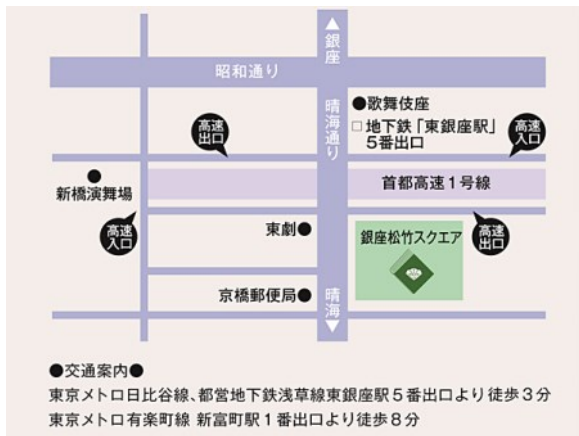
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

休館のお知らせ
令和5年11月22日(水)



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>